

ふるさと教育 取組事例

学校名	西ノ島町立西ノ島中学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習	西ノ島町の現在を知り未来を考えよう	役場職員、観光協会、保育園、地元の事業所、
ねらい		西ノ島町の各分野の課題や取組を知ることにより、自分たちに何ができるのかを考え、解決策を考える。	

1 取組の概要

1年生が、総合的な学習の時間において「子育て支援」「観光」「漁業」「高齢者福祉」の4つのグループに分かれ、インタビュー活動や調べ学習により、地域の実態を把握し、課題解決の方法を考えた。また、発表会を行い、保護者や地域の方に課題解決の方法を提案した。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・探求学習を進めるために地域の事業所や役場職員にインタビューしたり、アンケートをとったりして、西ノ島町の良さや課題を再発見し、課題を自分事ととらえられるよう取り組んだ。
- ・西ノ島町をよりよくするための提案を考え発表することで、発表参加者からアドバイスや励ましの言葉をもらい、学習が深まったり、ふるさとに対する愛着が高まったりした。
- ・アドバイスや地域住民の考えを聞くことで、西ノ島町の取り組みを学ぶとともに、3年生での総合的な学習の時間へのつながりを持てるように取り組んだ。

(学力育成の視点から)

- ・インタビューをしたり、グループで話し合いをしたりすることにより、思考力・判断力・表現力を高められるよう取り組んだ。
- ・聞き手（地域の方やお世話になった事業所の方、役場の方、保護者）を意識して、より分かりやすく伝えられるよう、目的意識をもたせて発表の準備を行った。

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・事後のアンケートにおいて、将来、西ノ島町に何かしらの形で関わっていきたいと思う生徒や西ノ島町をよくするために自分が関わりたいと思う生徒が多くいた。
- ・インタビュー活動などを通して地域と関わっていく中で、西ノ島町の良いところや課題について考えを深めることができた。
- ・インタビュー活動など通して地域と関わっていく中で、地域の方に大切にされていることなどを感じる生徒が多くいた。

(学力育成の視点から)

- ・調べ学習の中で、課題を立てて情報を集め、聞く人にわかりやすく整理して発表することができた。
- ・各自が調べた情報をグループ内で共有し、話し合いを通して現状把握や課題解決の提案を考えることに取り組むことができた。

4 課題や今後の展望

- ・ 1年次は町づくりについての考えを提案することを目標に取り組んできたので、この学習をもとに3年次の地域課題解決に向けて実践するという活動につながりを持たせていきたい。

